

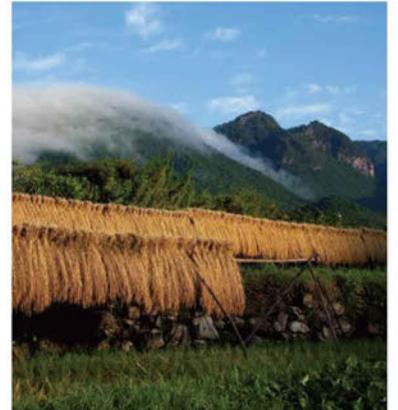
尾呂志地区活性化プラン推進委員会【御浜町尾呂志地区】

- 「売り込む・呼び込む・巻き込む」をキーワードに、**地域が一体となって地域内外に情報を発信!**
- 地域活性化に向け、**企業との協働による酒米づくり**や**郷土料理の保存活動**など、多様な活動を実施!

取組地域の概要

御浜町の北西に位置する尾呂志地区は、昼夜の寒暖差がある気候条件と豊富な山水に恵まれ、この地域の米どころとして知られている。また、地区内には世界遺産「熊野古道伊勢路」の「横垣峠道」と「風伝峠道」が通り、交通の要衝としても知られる。

丸山千枚田方面へ向かう国道 311 号沿いには、朝採れの野菜や地元の米などを販売する農産物直売所「さぎりの里」と、地域のブランド豚（岩清水豚）を使ったメニューを提供する「さぎり茶屋」がある。



棚田の里に壮大な朝霧が流れおちる「風伝おろし」

取組の背景

当地区では、住民主体による地域づくりが活発に行われ、農産物直売所を運営する合同会社「さぎりの里」や水稲の担い手組織「尾呂志『夢』アグリ」、女性グループ「おひまち会」が活動を発展させてきた。平成 24 年には、地域一体となって農業振興や地域の魅力発信に取り組んでいくため、各団体の活動を一本化して、「尾呂志地区活性化プラン推進委員会」が設置された。

取組のポイント

ポイント1 SNSやHPを用いた魅力発信により、尾呂志地区のファンを獲得

- ・ 交流から移住・定住へとつなげていくため、地区の歴史や文化、歳時記などを紹介するホームページ「恋しよおろし」を開設するとともに、SNSによる旬の情報の発信を行い、尾呂志地区のファンを増やしている。

ポイント2 地元企業と協働で酒米づくりに取り組み、日本酒「風（おろし）」が完成

- ・ 地区の水田の共同管理を行っている「尾呂志『夢』アグリ」は、平成 26 年に農山村活性化の取組に関する協定を熊野市の企業と結び、三重の酒米「神の穂」の作付けと「純米大吟醸酒」の製造に協働で取り組む。
- ・ 伊勢志摩サミット先遣隊歓迎夕食会で提供されたこともあり、メディアで紹介される機会も多く、地域の魅力発信につながる商品となっている。



完成した日本酒「風（おろし）」

ポイント3 女性の活躍により、郷土料理の保存活動が始動

- ・ 平成 28 年度に女性グループ「おひまち会」が結成され、郷土料理の勉強会の開催等により郷土料理の商品化をめざす取組がスタートしている。

今後の展望

農業の収益力のさらなる向上を図るとともに、地域全体で移住者を受け入れる体制を整備し、定住化を促進していく。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県熊野農林事務所農政室地域農政課
三重県紀州地域農業改良普及センター普及2課
電話 0597-89-6122